

京都大学構内遺跡調査研究年報

2016年度

京都大学文化財総合研究センター

京都大学構内遺跡調査研究年報

2016年度

京都大学文化財総合研究センター

序

本年報は、文化財総合研究センターがおこなった京都大学構内に残る遺跡の発掘調査のうち、2016年度に整理の終了したものについて、その研究成果をまとめたものである。

第Ⅰ部で報告する2件の調査のうち、病院構内の調査では、縄文時代早期の土器、中世や近世の土取り穴、近代の大学附属病院関連の遺物が見つかった。また、北部構内の調査では、終末期古墳の周溝である可能性が高い溝が見つかり、円筒埴輪の破片が多数出土した。近年の調査で、墳丘の削平された古墳が吉田南構内や本部構内で見つかってきており、古墳時代における吉田キャンパス一帯の土地利用を考える上で重要な成果となった。

第Ⅱ部の紀要では、5本の論考を掲載した。いずれの論考も、学内の発掘調査で得られた成果を関連資料などとの比較検討を進めて、さらに深めて考察した内容となっている。

第Ⅰ部・第Ⅱ部ともに、ご高覧いただき、ご批評いただければ幸いである。

当センターの前身である埋蔵文化財研究センターが1977年に発足してから、今年度で40周年を迎えた。この間の調査・研究成果は、本年報をはじめ、尊攘堂での資料展示などを通して、広く知ってもらえるように努めてきた。2014年度からは本学総合博物館と共催で、「文化財発掘」と題した展示も総合博物館で実施している。4回目となる今回は、「足もとに眠る京都—考古学からみた鴨東の歴史—」（会期：2月14日～6月24日）を企画した。この展示は、京都市考古資料館・京都市埋蔵文化財研究所とも連携して、京都市で旧石器～古墳時代、京都大学で飛鳥～室町時代を展示し、両者の展示を通して、吉田キャンパスの所在する鴨東地域を考古学から読み解くという新たな試みとなっている。

また今年度は、総合博物館と信濃川火焰街道連携協議会・新潟県立歴史博物館が主催した「火焰型土器と西の縄文」（2017年9月9日～10月22日、於総合博物館）にも共催として参加し、構内から出土した縄文時代資料の調査・研究成果を展示した。今後多方面と連携しつつ、社会的発信事業に継続的に取り組んでいきたい。

京都大学吉田キャンパスは、ほぼその全域が周知の埋蔵文化財包蔵地となっており、発掘調査を終えた面積は全域の約15%である。当センターがおこなっている様々な取り組みの中で、基幹となるミッションは、学内における施設整備に伴う発掘調査や立合調査である。こうした事業を円滑に進めるためには、施設部をはじめとした関連部局からの多大なご協力が不可欠である。今後ともご支援ご協力をお願い申し上げる次第である。

2018年3月

京都大学文化財総合研究センター長
吉井秀夫

例 言

- 1 本年報は、京都大学構内で2016年4月1日から2017年3月31日までに発掘、整理作業をおこなった埋蔵文化財調査と保存の報告、および京都大学文化財総合研究センターにおける研究成果をまとめたものである。
- 2 国土座標にしたがって一辺50mの方形の地区割りをして、遺跡の位置を表示した。
- 3 層位と遺構の位置については、国土座標第Ⅵ座標系（日本測地系、 $x = -108,000$
 $y = -20,000$ ）が（ $X = 2,000$ $Y = 2,000$ ）となる京都大学構内座標により表示した。
- 4 遺構の略号は、奈良文化財研究所の方式にしたがって、井戸：SE，土坑：SKのように表示し、各調査ごとに通し番号を1から付した。
- 5 遺物には、遺跡の調査名を示すローマ数字と、調査ごとの通し番号を1から付した。この遺物番号は、本文、実測図、写真を通じて表示を統一した。
Ⅰ：京都大学病院構内A H18区の発掘調査
Ⅱ：京都大学北部構内B C30区ほかの立合調査
（例 Ⅰ1：京都大学病院構内A H18区出土遺物1番）
- 6 原則として、遺物の実測図は縮尺1/4、遺物の写真は約1/2に統一した。他の縮尺のもの、それぞれに縮尺を明記した。
- 7 参考文献は、本文中に〔著者名 発表年〕の形式で表わし、巻末に一括した。
- 8 古代・中世土師器の型式分類は、とくにことわりがない場合、『京都大学埋蔵文化財調査報告Ⅱ』（1981年）にしたがっている。
- 9 本文の執筆者名は各章の初めに列記した。また、遺物の撮影は、それぞれ報告者が担当した。
- 10 編集は、笹川尚紀が担当し、千葉豊、伊藤淳史、富井眞、内記理、磯谷敦子、柴垣理恵子、長尾玲、藤森良祐が協力した。

京都大学構内遺跡調査研究年報 2016年度

目 次

第 I 部 2016年度京都大学構内遺跡発掘調査報告

第 1 章 2016年度京都大学構内遺跡調査の概要	1
1 調査の経過	1
2 調査の成果	1
第 2 章 京都大学病院構内 A H18区の発掘調査	3
1 調査の概要	3
2 層 位	3
3 縄文時代の遺物	5
4 中世の遺跡	7
5 近世・近代の遺跡	10
6 小 結	33
第 3 章 京都大学北部構内 B C 30区ほかの立合調査	37
1 調査の経緯	37
2 調査の成果	38
3 1973年農学部総合館周辺発掘調査について	50
4 小 結	59
参 考 文 献	61
京都大学構内遺跡調査要項	64
報告書抄録	75

第Ⅱ部 京都大学文化財総合研究センター紀要XXIV

弥生時代前期の吉田二本松町遺跡における土器の正面意識

1 はじめに	79
2 研究の背景	79
3 検討方法と対象資料	82
4 観察の結果	88
5 考察と課題	91
6 おわりに	95

京都大学構内遺跡出土の平安時代土馬

—吉田南構内A O22区出土資料の紹介—

京都大学構内遺跡出土の近世瓦と刻印

1 はじめに	101
2 北部構内から出土した近世瓦の刻印	103
3 本部構内から出土した近世瓦	104
4 熊野構内から出土した近世瓦	108
5 吉田南構内から出土した近世瓦	112
6 病院構内・病院西構内から出土した近世瓦	114
7 京都に搬入された瓦	114
8 京都の瓦工と刻印	115
9 ま と め	118

蓮月焼を模倣した陶器について

—京都大学病院構内A E19区S K15出土資料—

1 はじめに	123
2 調査の概要と井戸S K15	123
3 井戸S K15出土資料	124
4 玉木良斉について	150

5 おわりに.....153

土佐藩白川邸・尾張藩吉田邸にまつわる覚書

1 はじめに.....155
2 土佐藩白川邸の沿革.....156
3 尾張藩吉田邸の沿革.....167
4 おわりに.....176

図 版.....巻末

図 版 目 次

- 図版 1 京都大学吉田キャンパスの地区割と調査地点
- 図版 2 京都大学病院構内 A H18区
- 1 表土・攪乱除去後の全景（北から）
 - 2 中世遺構掘りあげ後の全景（北から）
- 図版 3 京都大学病院構内 A H18区
- S X 6 出土遺物, S K 1 出土遺物, S E 1 出土遺物
- 図版 4 京都大学北部構内 B C 30区ほかの立合調査
- 1 第 5 工区15地点北壁の層位（南から）
 - 2 第 5 工区15地点北壁の形象埴輪出土状況（南から）
 - 3 第 5 工区 A 地点の S X 1 断面（北東から）
 - 4 埋管掘削底面における S X 1 確認状況（南から）
 - 5 S X 1 の礫の集積（東から）
 - 6 S X 1 の礫・埴輪の出土状況（北から）
- 図版 5 京都大学北部構内 B C 30区ほかの立合調査
- S X 1 出土遺物(1)
- 図版 6 京都大学北部構内 B C 30区ほかの立合調査
- S X 1 出土遺物(2)
- 図版 7 京都大学北部構内 B C 30区ほかの立合調査
- 1973年農学部総合館周辺の発掘調査
- 1 I トレンチ農学部正門付近（北から）
 - 2 A トレンチ平安層遺物出土状況（北から）
 - 3 I トレンチ溝状遺構甕出土状況（その 1・南から）
 - 4 I トレンチ溝状遺構甕出土状況（その 2・東から）
 - 5 I トレンチ拡張後溝状遺構完掘状況（南から）
- 図版 8 京都大学北部構内 B C 30区ほかの立合調査
- 1973年農学部総合館周辺の発掘調査
- 土師器, 軒丸瓦

- 図版 9 京都大学北部構内 B C 30区ほかの立合調査
1973年農学部総合館周辺の発掘調査
軒平瓦
- 図版10 京都大学構内遺跡出土の平安時代土馬
1 吉田南構内 A O 22区西半域の古代中世遺構全景（北東から）
2 平安時代中期の井戸 S E 28（北から）
- 図版11 京都大学構内遺跡出土の平安時代土馬
1 S E 28出土
2 中世土坑 S K 29出土
3 中世井戸 S E 26出土
- 図版12 京都大学病院構内 A E 19区
1 S K 15上面（西から）
2 S K 15遺物出土状況（北から）
3 S K 15遺物出土状況（北東から）
4 S K 15遺物出土状況（北東から）
5 S K 15遺物出土状況（東から）
6 S K 15下底部（北から）
- 図版13 京都大学病院構内 A E 19区
S K 15出土遺物
- 図版14 京都大学病院構内 A E 19区
S K 15出土遺物
- 図版15 京都大学病院構内 A E 19区
S K 15出土遺物
- 図版16 京都大学病院構内 A E 19区
S K 15出土遺物
- 図版17 京都大学病院構内 A E 19区
S K 15出土遺物

挿 図 目 次

病院構内 A H18区の発掘調査	
図1 調査地点の位置……………	3
図2 調査区東西畔の層位……………	4
図3 下層砂礫出土縄文土器, S X 6 出土縄文土器, 灰褐色土出土縄文土器……………	6
図4 中世の遺構……………	7
図5 S X 2 出土遺物, S X 6 出土遺物(1)……………	8
図6 S X 6 出土遺物(2)……………	9
図7 近世・近代の遺構……………	11
図8 S X 3 出土遺物, S X 4 出土遺物 ……………	13
図9 S X 1 出土遺物, S X 5 出土遺物 ……………	15
図10 小穴出土遺物, S D 1 出土遺物(1) ……………	16
図11 S D 1 出土遺物(2)……………	17
図12 S K 1 出土遺物(1)……………	19
図13 S K 1 出土遺物(2)……………	20
図14 S K 1 出土遺物(3)……………	21
図15 S K 1 出土遺物(4)……………	22
図16 S K 1 出土遺物(5)……………	23
図17 S K 1 出土遺物(6)……………	24
図18 S E 1 出土遺物(1)……………	26
図19 S E 1 出土遺物(2)……………	27
図20 灰褐色土出土遺物(1)……………	29
図21 灰褐色土出土遺物(2)……………	30
図22 灰褐色土出土遺物(3)……………	31
図23 表土・攪乱出土遺物……………	32
北部構内 B C30区ほかの立合調査	
図24 調査地点の位置……………	37
図25 調査区配置と層序・主要遺構の 確認位置……………	38
図26 第4・5工区の層序模式図……………	41
図27 第5工区の主要遺構配置図……………	42
図28 第5工区A地点南壁のS X 1の 層序……………	42
図29 第7工区の層序模式図……………	45
図30 第8工区の層序模式図……………	46
図31 第5工区の出土遺物(1)……………	47
図32 第5工区の出土遺物(2)……………	48
図33 第7・8工区の出土遺物……………	50
図34 1973年農学部総合館周辺調査 トレンチ配置図……………	51
図35 Fトレンチ北壁・Bトレンチ東壁 の層位……………	52
図36 Iトレンチ西壁の層位 (農学部正門より北側)……………	54
図37 Iトレンチ溝状遺構内の甕の 出土状況……………	55
図38 1973年農学部総合館周辺調査の 出土遺物(1)……………	56
図39 1973年農学部総合館周辺調査の 出土遺物(2)……………	57

図40 1973年農学部総合館周辺調査の 出土遺物(3)……………58	京都大学構内遺跡出土の近世瓦と刻印
	図53 幕末における吉田周辺 ……101
	図54 北部構内出土の近世瓦 ……105
	図55 北部構内出土の近世瓦で確認され た刻印 ……105
	図56 本部構内出土の近世瓦 ……107
	図57 本部構内出土の近世瓦で確認され た刻印 ……107
	図58 熊野構内出土の近世瓦で確認され た刻印 その1 ……109
	図59 熊野構内出土の近世瓦で確認され た刻印 その2 ……111
	図60 吉田南構内出土の近世瓦 ……113
	図61 吉田南構内出土の近世瓦で確認さ れた刻印 ……113
	図62 病院構内出土の近世瓦 ……113
	図63 病院構内・病院西構内出土の 近世瓦で確認された刻印 ……113
	蓮月焼を模倣した陶器について
	図64 調査地点の位置 ……124
	図65 S K 15出土遺物(1) ……126
	図66 S K 15出土遺物(2) ……127
	図67 S K 15出土遺物(3) ……129
	図68 S K 15出土遺物(4) ……130
	図69 S K 15出土遺物(5) ……131
	図70 S K 15出土遺物(6) ……132
	図71 S K 15出土遺物(7) ……133
	図72 S K 15出土遺物(8) ……135
	図73 S K 15出土遺物(9) ……136
弥生時代前期の吉田二本松町遺跡にお ける土器の正面意識	
図41 赤羽古墳の土器の展開写真および 実測図と出土情報……………81	
図42 雪野山古墳の土器の展開写真 および実測図と出土情報……………83	
図43 吉田二本松町遺跡における検討 対象個体の出土位置……………84	
図44 事例1の土器の展開写真および 実測図と出土情報……………85	
図45 事例2の土器の展開写真および 実測図と出土情報……………86	
図46 事例3の土器の展開写真および 実測図と出土情報……………87	
図47 事例4の土器の展開写真および 実測図と出土情報……………89	
図48 事例5の土器の展開写真および 実測図と出土情報……………90	
京都大学構内遺跡出土の平安時代土馬	
図49 調査地点(A O 22区)の位置…97	
図50 A O 22区検出の平安時代中期の 主要な遺構……………98	
図51 平安時代中期の井戸 S E 28…99	
図52 A O 22区出土の平安時代土馬 ……………100	

図74	S K 15出土遺物(10) ……………	137	図81	S K 15出土遺物(17) ……………	150
図75	S K 15出土遺物(11) ……………	144	図82	頂妙寺墓地に所在する玉木氏の 墓石 ……………	151
図76	S K 15出土遺物(12) ……………	145		土佐藩白川邸・尾張藩吉田邸にまつわ る覚書	
図77	S K 15出土遺物(13) ……………	146	図83	「吉田御屋敷之図」……………	173
図78	S K 15出土遺物(14) ……………	147			
図79	S K 15出土遺物(15) ……………	148			
図80	S K 15出土遺物(16) ……………	149			

表 目 次

表 1	第 4 ・ 5 工区の立合調査一覧…	40	表 4	蓮月焼・蓮月焼模倣陶器一覧 ……………	139
表 2	第 7 ・ 8 工区の立合調査一覧…	44			
表 3	京都大学構内遺跡のおもな調査 ……………	65			

第 I 部 2016年度京都大学構内遺跡発掘調査報告

第1章 2016年度京都大学構内遺跡調査の概要

第2章 京都大学病院構内 A H 18区の発掘調査

第3章 京都大学北部構内 B C 30区ほかの立合調査

第Ⅱ部 京都大学文化財総合研究センター紀要XXIV

弥生時代前期の吉田二本松町遺跡における土器の正面意識

富井 真

京都大学構内遺跡出土の平安時代土馬

伊藤淳史

京都大学構内遺跡出土の近世瓦と刻印

内記 理

蓮月焼を模倣した陶器について

千葉 豊

土佐藩白川邸・尾張藩吉田邸にまつわる覚書

笹川尚紀

2018年3月30日 発行

京都大学構内遺跡調査研究年報
2016年度

編集 京都大学文化財総合研究センター
発行 京都市左京区吉田本町
印刷 三星商事印刷株式会社
製本 京都市中京区新町通竹屋町下ル弁財天町300